

公益財団法人ハイライフ研究所

Research Institute for High Life

高齢者の食品購買行動 2019



ハイライフ研究所では、2016年から2018年にかけて、近未来消費研究の一環で高齢化と人口減に伴う消費行動の研究を行いました。また、2018年には購買履歴データによる消費行動の検証を発表し、900項目を超える全食品カテゴリー別の購買行動概要の詳細分析を加えました。この研究発表を背景に、食品全カテゴリー別の購買行動を詳細に見ていくことで、高齢者の食品消費行動を把握し、食生活動向の定点観測を行います。

集計には、近未来消費研究で使用した株式会社ショッパーインサイトの購買履歴データ、また同社が保持するローデータを用い、必要に応じて本コンテンツ向けに独自集計、加工分析いたします。

2019年度1年間を通してコンテンツを展開していきます。

前回は、年金支給日のシニアの購買行動を取り上げました。食品スーパー全体での利用動向では以下のことがわかりました。

- ・シニア層は、通常よりも年金支給日に食品スーパーに来店する傾向にある
- ・通常よりも食品スーパーに来店する時間が早まる
- ・通常よりもプラス1点購買するシニア層が多い

第3回は、食品のカテゴリー別(1)に集計し、年金支給日のカテゴリー別シニアの購買行動を取り上げます。下記分析は、全て70～80代に限定して分析しました。

1.年金支給日には、70～80代の果物類や生活必需品のカテゴリーの購買率が高まる。

最初に、年金支給日の4月15日(月)に来店した70代～80代のカテゴリー別購買率(来店者のうち当該カテゴリーを購入した人の割合)を集計し、前週4月8日(月)の購買率と比較しました。図表1は前週に比べて購買率が高まったカテゴリーです。

図表1 購買率が高まったカテゴリー

カテゴリー	4月8日	4月15日	差 (ポイント)
農産：果物：輸入果物：キウイフルーツ	1.4%	3.4%	1.9
農産：野菜：葉菜：レタス	3.2%	4.9%	1.7
農産：野菜：果菜：南瓜	2.8%	4.5%	1.7
嗜好食品：菓子：半・生菓子：和風半・生菓子	12.9%	14.5%	1.6
農産：野菜：果菜：トマト	6.2%	7.8%	1.5
農産：果物：季節果物：いちご	6.2%	7.7%	1.5
水産：塩干加工品：海草：めかぶ	0.9%	2.2%	1.3
食品：調味料：基礎調味料：醤油	1.6%	2.7%	1.2
食品：調味料：基礎調味料：砂糖	1.4%	2.5%	1.0
食品：加工食品：水物：納豆	13.5%	14.5%	1.0
食品：穀物類：粉類：小麦粉	0.4%	1.3%	0.9
食品：穀物類：米：うるち米	1.8%	2.7%	0.9
農産：果物：輸入果物：バナナ	14.0%	14.8%	0.8

※購買率が1.0%のカテゴリーを対象

キウイフルーツやいちご、バナナといった果物類の購買率が高まりました。また、レタスや南瓜といった農産の購買率も高まりました。さらに、醤油、砂糖、小麦粉といった長期家庭内で保管できるカテゴリーの購買率も高まりました。給料日に必需品をまとめ買いする意識に似ているかもしれません。

一方、図表2は購買率が低下したカテゴリーです。惣菜やパン類など、あまり日持ちのしない食材が多く見られます。

図表2 購買率が低下したカテゴリー

カテゴリー	4月8日	4月15日	差 (ポイント)
農産：野菜：葉菜：ホウレン草	5.4%	2.8%	-2.6
惣菜：惣菜：揚物惣菜：コロツケ惣菜	3.8%	3.0%	-0.7
畜産：豚肉：国産豚：国産豚うす切り	2.9%	2.3%	-0.6
農産：野菜：きのこ：えのき	3.2%	2.6%	-0.6
食品：穀物類：パン：菓子パン	16.3%	15.8%	-0.5
食品：調味料：基礎調味料：ポン酢	1.5%	1.0%	-0.5
水産：鮮魚：切身：ぶり・はまち切身	2.2%	1.7%	-0.5
惣菜：弁当：弁当・セット物：弁当	3.5%	3.0%	-0.4
食品：穀物類：麺類：生・ゆでうどん	4.5%	4.1%	-0.4
惣菜：弁当：米飯惣菜：おにぎり	3.9%	3.5%	-0.4
食品：穀物類：パン：ロールパン	5.8%	5.4%	-0.4
惣菜：惣菜：揚物惣菜：カツ惣菜	3.4%	3.0%	-0.4

※購買率が1.0%のカテゴリーを対象

2.年金支給日には、容量の多い商品が購入される傾向にある。

次に、購買率に加えて、購買者1人当たりの金額も集計しました。図表3は、購買率が高まっただけでなく、購買者1人当たりの金額が高まったカテゴリーです。

図表3 購買率と1人当たり購買金額が増加したカテゴリー

カテゴリー	来店者購買率		来店者1人当たり購買金額(円)	
	4月8日	4月15日	4月8日	4月15日
食品：加工食品：漬物：梅干	1.5%	2.0%	453.2	528.2
食品：調味料：基礎調味料：砂糖	1.4%	2.5%	302.0	339.4
食品：穀物類：米：うるち米	1.8%	2.7%	1913.6	2135.0
嗜好食品：菓子：乾菓子：キャンディ	3.7%	4.4%	247.4	273.5
嗜好食品：菓子：半・生菓子：和風半・生菓子	12.9%	14.5%	217.8	234.7
嗜好食品：酒類：日本酒：清酒	1.7%	2.0%	798.8	858.7
食品：即席食品：レトルト惣菜：和風レトルト	3.0%	3.3%	289.8	309.3
嗜好食品：飲料：嗜好飲料：日本茶	1.8%	2.4%	505.0	537.1
食品：即席食品：即席汁物：即席味噌汁	2.2%	2.6%	277.0	294.0

梅干、砂糖、清酒などのカテゴリーがあげられます。ここで、購買率だけでなく、購買金額も高まる理由として、以下の2つが考えられます。

- ・通常よりも価格の高い商品が購入されるようになった
- ・通常よりも容量・個数の多い商品が購入されるようになった

どちらの傾向が強いのか、清酒カテゴリーと日本茶カテゴリーを例にとって集計しました。

図表 4 は前週に比べて販売点数 PI (70-80 代来店者 1000 レシート当たりの販売点数) が高まった主な清酒です。すると、白鶴まる、月桂冠上撰さけなど、売れ行きの高い商品の 2 L や 3 L の商品が高まりました。また、白鶴まる 200m l など小容量の商品も高まりました。一方、大吟醸など高価格帯の商品は、必ずしも高まりませんでした。

図表 4 販売点数 PI が高まった主な清酒

分析対象
白鶴まるサケパック 2 L
月桂冠上撰さけパック 2 L
松竹梅天紙パック 2 L
大関のものもはこ詰 2 L
白鶴まるサケパック 3 L
松竹梅天紙パック 3 L
白鶴まるサケカップ 200ml
沢の鶴丹頂 1.5カップ 270ml

図表 5 は前週に比べて販売点数 PI が高まった主な日本酒です。高級知覧茶 100g など高価格帯の商品も一部見られますが、多くは比較的容量の多い商品の点数 PI が高まりました。

図表 5 販売点数 PI が高まった主な日本茶

分析対象
伊藤園お〜いお茶 P 宇治抹茶入緑茶 1.8g × 20
伊藤園お〜いお茶宇治抹茶入り玄米茶袋 200g
伊藤園お〜いお茶緑茶 TB 2.3g × 20袋
伊藤園香りひろがるお茶緑茶 TB 2g × 40
伊藤園ワンポット抹茶入緑茶ティーバッグ 3g × 50
伊藤園ホームサイズかりがね茶袋 200g
J A 高級知覧茶 100g
大井川茶工場のまかない緑茶 320g

2回に渡ってシニア層の年金支給日の購買行動を分析し、以上のことがわかりました。

- ・シニア層は、通常よりも年金支給日に食品スーパーに来店する傾向にあるが、購買単価は高まらず、通常よりもプラス1点購買するシニア層が多い
- ・購買するカテゴリーは、長期間保存できるカテゴリーが多い。また、比較的容量の多い商品を購入する傾向が見られる
- ・普段よりもいいものを購入するシニア層は、必ずしも多くはない

当初、年金支給日の分析を行う際には、いつもより高単価のいいものを買うのではないかと、という仮説で分析を行っていました。しかし、食品スーパー全体でも、カテゴリー別でもそのような傾向は必ずしも見られず、堅実な購買行動を採るシニア層が多い傾向が見られました。店頭での展開でも考慮する必要があるでしょう。

(1) カテゴリーは、食品スーパーで販売されている生鮮、惣菜、加工食品、飲料等、食品全カテゴリーです。約920カテゴリーに分類しています。